

太陽石油株式会社



この星と人のチカラに。

Corporate Brochure

# SOLATOは 未来を創るために挑戦し続けます



## ブランドに込められた想い

太陽が天空を駆け抜け明日へ向かうことをイメージし、太陽石油の新しいチャレンジに重ね合わせ、2008年新ブランド名として命名いたしました。シンボルマークのデザインは、太陽と地球と明日に向かって広がる道をイメージしています。

そしてスローガンは、「この星と人のチカラに。」

ここには、何よりも人を大切に、私たちが住むこの星との「共存共栄」を未永く願い、エネルギーを連想した「チカラ」という言葉に、総合エネルギー企業としての「正義感」を伝えたいという想いが込められています。もしも人が、今よりもっと元気になれば、世界はもっと楽しく、強く、美しくなれると想います。明日をもっと心地よくしていくために。

SOLATOは、未来を創るために挑戦し続けます。

業界の慣習や、過去の常識にとらわれない、独自の発想とチャレンジ精神で、次の100年に向かっていきます。

私たち太陽石油は、この新ブランドに込められた想いを胸に、「総合エネルギー企業」として、たゆまぬ努力を続けてまいります。

※ SOLATOは、太陽を意味する「ソーラー」と、明日を意味する「トゥモロー」という二つの言葉の造語です。

社是

一 共存共栄

一 進取積極

一 独立自尊

企業理念

### 輝く太陽のように

わたしたちは、総合エネルギー企業として、地球環境との調和を図り、安心と安全を提供し、豊かな社会づくりに貢献します。

わたしたちは、事業活動を通じて、社会のみなさまとの融和を図り、積極果敢な挑戦によって新たな価値を創造し、持続的に成長する企業を目指します。

企業行動指針

太陽石油は、次の指針に従い誠実に行動します。

- |       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 安全操業  | 職場と地域の安全を最優先し、安全・安定操業に努めます。           |
| 環境保全  | 環境負荷の低減と省資源・省エネルギーに努め、地球環境の保全に取り組みます。 |
| 地域貢献  | 良き企業市民として、地域の発展に貢献します。                |
| 顧客満足  | 高品質の製品を安定的に提供し、顧客の満足と信頼を獲得します。        |
| 個人尊重  | 社員一人ひとりを尊重し、働きがいのある職場を提供します。          |
| 法令順守  | 法令や社会・社内規範を順守し、良心に従って行動します。           |
| 透 明 性 | 広く社会とのコミュニケーションを図り、事業活動の透明性を高めます。     |

## 社員一人ひとりが 同じ気持ちで

太陽石油は、経営の基本精神である「社是」の精神に則り、企業としての使命や全社員が共有する価値観を「企業理念」として制定しております。また、「企業理念」の実現に向けて企業活動を実践するにあたっての拠りどころとして、「企業行動指針」を定めております。

一貫操業体制を確立し、持続的な成長を目指します。

太陽石油は、石油の輸入から石油製品及び石油化学製品の製造・販売にいたる  
"一貫操業体制"を確立して、持続可能な経営を実現する企業を目指しております。

輸入



環境に優しい  
低硫黄原油を中心に輸入。

私たちの暮らしや産業活動に欠くことのできない石油の多くは、中東や東南アジア等の産油国から、大型タンカーにて日本に輸入されます。太陽石油では、サウジアラビア、マレーシア、ブルネイ、インドネシア、ロシア等の様々な産油国から、環境に優しい低硫黄原油を中心に輸入し、安全に四国事業所へと運んでおります。

精製・製造



良質で、  
環境に優しい製品を。

太陽石油では、多様な石油需要に応えるべく、常に高品質で環境に優しい石油製品及び石油化学製品を生産し、安全かつ安定的に製品を供給するよう、日夜努力を続けております。四国事業所、山口事業所の両事業所では、ISO9001(品質マネジメントシステム)及びISO14001(環境マネジメントシステム)を取得しており、品質確保・維持並びに環境に配慮した操業に努めております。



供給



安全・安定的に供給する使命。

太陽石油はお客様の様々なニーズに応えるため、地球に優しい製品を安定供給しております。毎日の暮らしのためだけでなく、産業活動の中でも広く活用される石油製品を、安全・確実にお客様へお届けするため、生産設備の増強・合理化、流通施設の設備拡充に取り組み、安定供給に万全の体制で取り組んでおります。

販売



質の高いサービスを提供。

太陽石油は、お客様に選ばれ、満足していただけるサービスを提供できるよう、あらゆるシーンでお客様目線の付加価値サービスを実行できる人財を育て、顧客満足を実践するSOLATOサービスステーションづくりに積極的に取り組んでおります。

太陽石油が運んでいるのは、「安心」です。

環境に優しい低硫黄原油を中心に輸入しています。



太陽石油は、サウジアラビア、マレーシア、ブルネイ、インドネシア、ロシア等から、環境に優しい低硫黄原油を中心に輸入しており、効率的かつ安全な輸送を心がけております。

四国事業所／石油精製設備

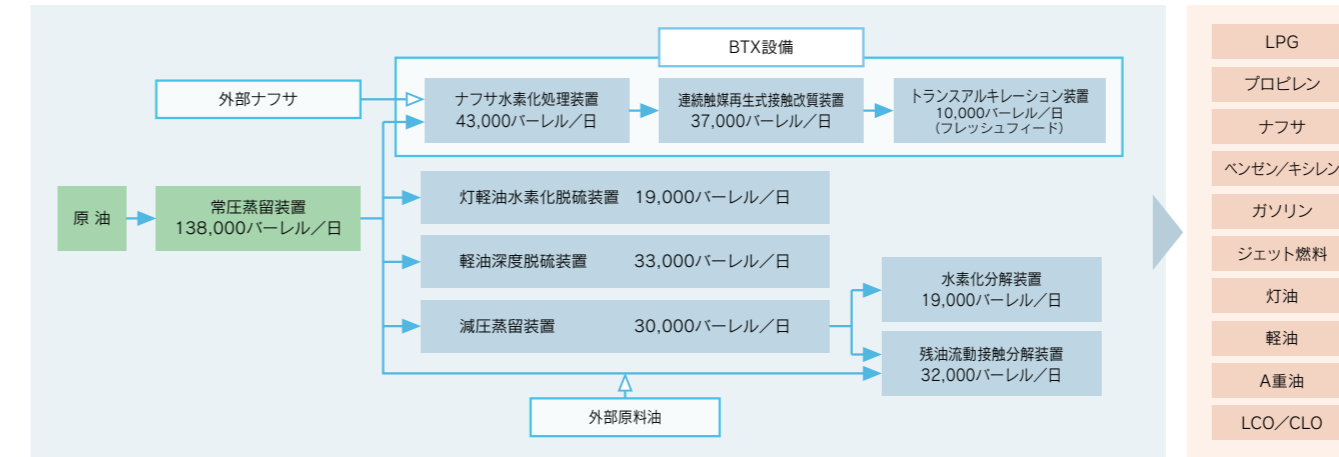


安全を最優先に、多様な石油ニーズに応えます。

総合エネルギー企業としての役割と、石油製品・石油化学製品の多様なニーズに対応し、安全かつ安定的な操業でお客様の期待に応えます。

【愛媛県今治市】

精製概略フロー



常圧蒸留装置

原油を蒸留し、LPG・ナフサ・灯油・軽油・残渣油の各留分に分離します。



水素化分解装置

減圧蒸留装置で残渣油から分離された減圧軽油を、水素ガスと混合し、高温高圧雰囲気中で触媒と反応させ、高品質のナフサ・灯油・軽油を製造します。



残油流動接触分解装置

原料である重油を高温低圧雰囲気中で触媒と接触させることで分解し、プロピレン・LPG・ガソリン留分を製造します。



BTX設備

原料であるナフサに水素化処理や接触改質処理を行い、得られた改質油を蒸留・抽出、トランスアルキル化することで、ベンゼン・キシレンを製造します。

四国事業所 精製・製造能力

タンク基数及び貯油能力		
原油タンク	9基	638,406kℓ
製品・半製品タンク (内石化用製品タンク)	69基 (5基)	526,698kℓ (42,333kℓ)
スロップタンク	4基	18,691kℓ
自家燃料タンク	3基	2,150kℓ
LPGタンク	12基	10,784t
溶融硫黄タンク	2基	2,340,000kg
		1,185,945kℓ
合計	99基	10,784t
		2,340,000kg

精製能力 138,000バレル(21,942kℓ)/日		
第一常圧蒸留装置	1基	106,000バレル(16,854kℓ)/日
第二常圧蒸留装置	1基	32,000バレル(5,088kℓ)/日
減圧蒸留装置	1基	30,000バレル(4,770kℓ)/日
水素化分解装置	1基	19,000バレル(3,021kℓ)/日
水素回収装置	1基	1,036,800Nm <sup>3</sup> /日
灯軽油水素化脱硫装置	1基	19,000バレル(3,021kℓ)/日
軽油深度脱硫装置	1基	33,000バレル(5,247kℓ)/日

BTX設備		
ナフサ水素化処理装置	1基	43,000バレル(6,837kℓ)/日
連続触媒再生式接触改質装置	1基	37,000バレル(5,883kℓ)/日 (内石油化学用 19,000バレル/日)
芳香族蒸留装置	1基	34,500バレル(5,486kℓ)/日
芳香族抽出装置	1基	11,000バレル(1,749kℓ)/日
水素回収装置	1基	2,054,400Nm <sup>3</sup> /日
トランスアルキレーション装置	1基	10,000バレル(1,590kℓ)/日 (フレッシュフィード)
第二芳香族蒸留装置	1基	19,000バレル(3,021kℓ)/日

RFCC設備		
残油流動接触分解装置	1基	32,000バレル(5,088kℓ)/日
プロピレン精製装置	1基	6,500バレル(1,034kℓ)/日
アルキレーション装置	1基	7,200バレル(1,145kℓ)/日
分解ガソリン脱硫装置	1基	17,000バレル(2,703kℓ)/日

山口事業所／石油化学製品製造設備

山口事業所製造能力

製造設備		タンク基数及び貯油能力	
エチルベンゼン製造装置	1基 397,000t/年(公称能力)	ベンゼン	2基 9,800kℓ
スチレンモノマー製造装置	1基 370,000t/年(公称能力)	スチレンモノマー	3基 17,900kℓ
		エチレンタンク(冷却設備含む)	1基 2,900t



【山口県宇部市】

山口事業所は、一系列としては国内最大級の生産を誇るスチレンモノマープラントです。原料であるベンゼンとエチレンを反応させ、エチルベンゼンを製造。製造されたエチルベンゼンを脱水素反応させ、高品質のスチレンモノマーを製造しています。高度な技術を駆使して、徹底的な自動化を図ることで少人数による効率運転を実現しています。



製造設備



原料・製品貯蔵設備

総合エネルギー企業として、「社会」をしっかり支える。

太陽石油は、お客様のニーズに応え、国内はもとより海外にも輸出しております。



四国事業所 ドルフィンバース 122,000DWT級

太陽石油はお客様のさまざまなニーズに応えるため、地球に優しい製品を安定供給しております。毎日の暮らしのためだけでなく、産業活動の中でも広く活用される石油製品を、安全・確実にお届けするため、生産設備の合理化、流通施設の・拡充に取り組み、安定供給に万全の態勢で取り組んでおります。



四国事業所 試験分析センター  
製品の試験分析と品質管理、製品の品質向上、有害物質の除去、環境・エネルギー関連の技術研究・開発等を実施しています。



四国事業所 海上受入・出荷設備



四国事業所 陸上出荷設備



四国事業所 ドラム出荷設備  
大規模災害時には陸上自衛隊と連携し、石油製品の供給支援を行います。

## お客様との絆を育み、新たな価値を展開。

お客様に選ばれ、支持されるサービスステーションづくりに取り組んでいます。

フルサービスでもセルフサービスでも、接客サービスの基本となるのは、サービスステーションのスタッフに変わりありません。お客様からの評価を獲得し、満足していただくためには、質の高い接客や、幅広い提案力が必要です。あらゆるシーンでお客様目線の付加価値サービスを提供し、顧客満足を実現できるSOLATOサービスステーションを目指していきます。



## 当社は、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に貢献します。

### 安全への取り組み

### 安全・安定操業が経営の基盤

「安全第一」「人命尊重」を基本に、あらゆる事故並びに災害の未然防止に努めます。

#### ■ 保安管理システム

両事業所では、高圧ガス保安法に基づく「保安管理システム」を構築し、自主保安体制の強化を図っています。また、様々な安全管理活動を通して事故や災害の芽を事前に摘み取り、より安全な職場づくりを進めています。

#### ■ 労働安全衛生マネジメントシステム

ISO45001認証取得(四国事業所)	
認証取得日	2020年1月31日
認証機関	高圧ガス保安協会 ISO審査センター

四国事業所では、労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、ISO45001の認証を取得しています。

#### ■ 認定事業所ロゴマーク

本ロゴマークは、四国・山口事業所が高圧ガス保安法に基づく「認定事業者」であることを証するものです。



#### ■ 防災組織

両事業所では、自衛防災組織を設置しています。定期的に防災訓練を行うことで、自衛防災隊の迅速な防災体制の確立と、防災活動の習熟を図っています。



消防隊による泡放水消火活動



防災センターと化学消防車群

### 環境への取り組み

### 地球環境との調和のために

太陽石油は、総合エネルギー企業として、環境の保全に努めています。

#### ■ 環境マネジメントシステム

ISO14001認証取得(四国事業所)	
認証取得日	2002年3月22日
認証機関	高圧ガス保安協会 ISO審査センター

ISO14001認証取得(山口事業所)	
認証取得日	2003年3月24日
認証機関	日本化学キューエイ株式会社

両事業所では、環境マネジメントシステムを構築し、ISO14001の認証を取得しています。

### 新規事業への取り組み

### 持続可能な事業創造と仕組みの確立

- 現状の取り組み
  - ・合弁会社「SDTソーラーパワー株式会社」設立
  - ・LEシステム株式会社への出資及び同社との業務提携に関する基本合意書締結

### 地域・社会貢献活動

### 社会、地域のためにできること

太陽石油は、総合エネルギー企業として広く社会に貢献できるような地域に密着した活動を実施しています。

#### ■ 事業所周辺の清掃活動



両事業所では、社員有志による事業所周辺の道路等の清掃活動を積極的に実施しております。

#### ■ 太陽が育む森



高知県及びいの町と「協働の森づくり事業」、愛媛県及び今治市と「森林づくり活動」協定を締結。太陽石油が活動する森をそれぞれ「太陽が育む森」と名付け、森林整備活動を通して、環境保全や地域の皆様との交流を行っています。

#### ■ 愛媛新聞読書感想文コンクール



当社は、愛媛新聞社が主催する小学生読書感想文コンクールへ2011年より協賛しています。愛媛県内の小学生を対象に、読書感想文を募集し、特別賞(太陽石油SOLATO賞を含む)、優秀賞、佳作受賞者向けに表彰式を開催しています。当社は、次世代を担う子ども達の健全な育成を目的とした、このような取り組みへの支援を行っています。

## 社会の暮らしを支える挑戦は110年を越え、さらに新しい未来へ。

当社は、社会インフラ機能維持に不可欠な石油・石油化学製品を取り扱う企業として社会の皆様の生活を支えるという重大な責任を負っていると同時に、安全、環境問題については、常に社会の皆さまから厳しい評価をいただく立場にあると認識しています。エネルギー供給における社会機能維持者としての企業の社会的責任を追求しながら、企業理念のもとでこれからもさまざまなステークホルダーの皆様へ支持される企業を目指して参ります。

1908~1943	
<b>創成期</b> 当社の前身である青木石油店の創業から太陽石油の設立まで	
1908年 (明治41年)	9月 初代 青木繁吉が高知県高岡郡(現土佐市)で青木石油店を創業
1915年 (大正4年)	2月 愛媛県八幡浜市に移転
1918年 (大正7年)	1月 ライジングサン九州西戸崎製油所から原料供給を受け灯油精製を開始
1923年 (大正12年)	8月 ヘッグマン蒸留釜で石油精製開始
1930年 (昭和5年)	5月 青木石油株式会社に改称 資本金2万円
1938年 (昭和13年)	10月 工場を愛媛県越智郡亀岡村(現四国事業所)に移転
1941年 (昭和16年)	2月 青木石油・ミカド製油・松岡石油の精製部門を統合、太陽石油(株)を発足 東京市芝区三田豊岡町に本社設置 資本金100万円
1943年 (昭和18年)	7月 本社を愛媛県八幡浜市に移転 資本金を400万円に増資
<b>1949~1964</b>	
<b>戦後復興期</b> 本格的な自主生産の開始時期	
1949年 (昭和24年)	12月 GHQより太平洋岸製油所の再開許可あり、石油精製再開に向け設備建設に着手
1951年 (昭和26年)	2月 石油精製が許可され、シェル石油より500バレル/日を受託し精製開始
1953年 (昭和28年)	7月 資本金を4,800万円に増資 自社精製開始
1958年 (昭和33年)	10月 わが国初のソ連原油輸入
1964年 (昭和39年)	6月 青木良作が二代目社長に就任 資本金を5,200万円に増資 9月 わが国初のルーマニア原油輸入 11月 常圧蒸留装置59,000バレル/日に認定
<b>1965~1991</b>	
<b>成長期</b> 製油所の高度化事業が本格的にスタートした時期	
1965年 (昭和40年)	9月 青木繁良が三代目社長に就任
1967年 (昭和42年)	7月 資本金を1億円に増資
1969年 (昭和44年)	4月 石油連盟に加盟
1970年 (昭和45年)	12月 資本金を4億円に増資
1974年 (昭和49年)	9月 常圧蒸留装置設備能力69,000バレル/日に増強
1975年 (昭和50年)	7月 菊間製油所(現四国事業所)JIS表示許可工場となる
1976年 (昭和51年)	7月 90日石油備蓄体制確立
1977年 (昭和52年)	1月 マレーシア国営石油会社(ペトロナス)と、わが国初のDD原油取引開始
1981年 (昭和56年)	11月 現本社所在地(東京都千代田区)に移転



二代目社長 青木良作



三代目社長 青木繁良

1982年 (昭和57年)	3月 石油地下備蓄実証プラントが菊間製油所構内に完工、当社が実証運転を担当
1983年 (昭和58年)	9月 常圧蒸留装置4,000バレル/日減少処理し、設備能力65,000バレル/日に増強
1986年 (昭和61年)	3月 アンゴラ海上鉱区開発プロジェクトに資本参加 11月 マレーシア海上鉱区開発プロジェクトへ参加
1991年 (平成3年)	6月 原油船「第一太陽丸」(88,543DWT)就航 BTX製造設備完成・移動により石油化学分野に進出 12月 プロダクト(製品)船「第二太陽丸」(58,950DWT)就航
<b>1996~2019</b>	
<b>発展期</b> 特石法廃止に伴う業容拡大期	
1996年 (平成8年)	7月 本社機能の一部移管に伴い、菊間製油所を四国事業所に改名
1998年 (平成10年)	10月 東京工業品取引所先物市場の一次会員に加入 12月 四国事業所ISO9002認証登録
1999年 (平成11年)	10月 河井園士が四代目社長に就任
2002年 (平成14年)	3月 四国事業所ISO14001認証登録
2003年 (平成15年)	8月 常圧蒸留装置設備能力120,000バレル/日に増強 10月 太陽石油化学(株)設立 12月 三井化学(株)より山口スチレン工場買収
2006年 (平成18年)	6月 岡 豊が五代目社長に就任
2008年 (平成20年)	3月 四国事業所新事務所竣工 9月 創業100周年 新ブランド「SOLATO」の立ち上げ、シンボルマーク発表、SSデザイン刷新

2008年 (平成20年)	12月 新陸上出荷設備竣工
2009年 (平成21年)	3月 資本金を9億円に増資 9月 資本金を26億5千万円に増資 12月 資本金を46億5千万円に増資
2010年 (平成22年)	3月 資本金を56億円に増資 11月 残油流動接触分解設備25,000バレル/日完成・移動
2014年 (平成26年)	3月 太陽石油化学(株)を吸収合併 3月 常圧蒸留装置設備能力118,000バレル/日に増強 8月 残油流動接触分解装置能力29,000バレル/日に増強 11月 不均化装置10,000バレル/日完成・移動
2016年 (平成28年)	12月 南西石油(株)発行済全株を取得
2017年 (平成29年)	3月 常圧蒸留装置設備能力138,000バレル/日に増強 残油流動接触分解設備32,000バレル/日に増強
2018年 (平成30年)	9月 軽油深度脱硫装置33,000バレル/日に増強
2019年 (平成31年)	3月 資本金を4億円に減資



商号 太陽石油株式会社 Taiyo Oil Company, Limited

役員体制

取締役	代表取締役	岡 豊
	取締役	松木 徹
	代表取締役	吉井 伸吾
	取締役	荻野 淳
	代表取締役	小笠原 安幸
監査役	監査役	大橋 洋史
	監査役	小川 清文
執行役員	社長執行役員	岡 豊
	副社長執行役員	松木 徹
	専務執行役員	吉井 伸吾
	常務執行役員	荻野 淳
	常務執行役員	磯岡 一郎
	常務執行役員	小笠原 安幸
	執行役員	中山 信二
	執行役員	佐々木 輝明
	執行役員	加藤 庸之
	執行役員	松浦 孝寿
	執行役員	公文 英雄
	執行役員	日野 晋吾
	執行役員	村上 幹夫
	執行役員	檜垣 昌司
	執行役員	北島 隆広
	執行役員	尾崎 正典
	執行役員	渡辺 守

(2020年4月1日現在)

従業員数 719名(2020年4月1日現在)

資本金 4億円(2020年3月31日現在)

設立年月日 1941年2月27日

事業内容

- 石油の輸出入業、精製業及び販売業
- ベンゼン、キシレン等の石油化学系基礎製品の製造、加工および販売

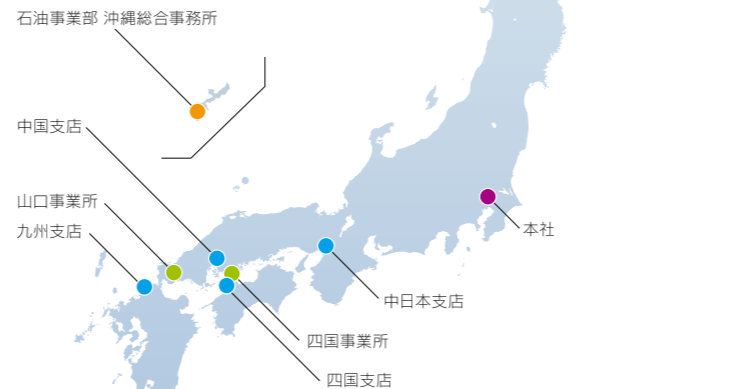
主要取引先

サウジアラムコ(サウジアラビア)	三菱商事
プルネイシエル(プルネイ)	三井物産
ペトロナス(マレーシア)	三井化学
石油資源開発	Lotte Chemical
国際石油開発帝石	東ソー
兼松	住友化学
阪和興業	

主要銀行

日本政策投資銀行	三菱UFJ銀行
三井住友銀行	みずほ信託銀行
みずほ銀行	三井住友信託銀行

事業所一覧



- 本 社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル15F  
TEL 03-3502-1601(代表)
- 四国事業所 〒799-2393 愛媛県今治市菊間町種4070-2  
TEL 0898-54-2500(代表)
- 山口事業所 〒759-0205 山口県宇部市大字西沖ノ山字西沖13-3  
TEL 0836-41-4154(代表)
- 中日本支店 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル7F  
TEL 06-6366-1012(代表)
- 中国支店 〒730-0016 広島県広島市中区鞆町13-11 明治安田生命広島鞆町ビル7F  
TEL 082-211-4488(代表)
- 九州支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-24 大博センタービル11F  
TEL 092-415-1255(代表)
- 四国支店 〒790-0001 愛媛県松山市一番町1-14-7 フジコビルF 5F  
TEL 089-943-5252(代表)
- 石油事業部 沖縄総合事務所 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング 7F  
TEL 098-917-5739(代表)

関連会社

国内

太陽テクノサービス株式会社	
本 社	愛媛県今治市菊間町種4070-2
設 立	1960年8月
資 本 金	9,500万円
営業内容	海陸運輸業、石油受入払出業、建設請負業
T E L	0898-54-4800(代表)

旭陽タンカー株式会社	
本 社	東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイヤル 4F
設 立	1969年3月
資 本 金	7,000万円
営業内容	海運業
T E L	03-3580-6928(代表)

太陽石油販売株式会社	
本 社	愛媛県松山市高岡町74-1
設 立	1970年2月
資 本 金	8,500万円
営業内容	石油製品販売業、自動車整備事業、損害保険代理店業
T E L	089-974-5760(代表)

日本地下石油備蓄株式会社	
本 社	東京都港区芝大門1-1-30芝NBFタワー
設 立	1986年5月
資 本 金	2億円
営業内容	石油備蓄基地の運転および保守管理の受託
T E L	03-3432-2155

南西石油株式会社	
本 社	沖縄県中頭郡西原町字小那覇858
設 立	1968年5月
資 本 金	1億500万円
営業内容	石油受入払出業、油槽所管理運営
T E L	098-882-9555(代表)

海外

太陽インターナショナル プライベート リミテッド(Taiyo International Private Limited.)	
本 社	20 Anson Road, #09-03 Twenty Anson Singapore 079912
設 立	1979年10月
資 本 金	S\$150万
営業内容	原油・石油製品の販売、輸出入
T E L	Singapore (65)6222-2912(代表)

関連会社出資比率

